

## 医療安全全国共同行動 8つの行動目標

### ◆ 行動目標 1: 危険薬の誤投与防止

【目標】危険薬の誤投与に起因する死亡を防止する。

【推奨する対策】

1. 危険薬の啓発と危険薬リストの作成・周知
2. 高濃度カリウム塩注射剤、高張塩化ナトリウム注射剤の病棟保管の廃止
3. 類似薬の警告と区分保管
4. 注射指示の標準化
5. 「危険薬の誤投与防止ベストプラクティス16(NDP)」の実施(チャレンジ)

### ◆ 行動目標 2: 周術期肺塞栓症の予防

【目標】周術期肺塞栓症による死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 適正予防策選択のための総合的評価の実施
2. 予防策の確実な実施と安全管理
3. 肺塞栓予防の重要性に関する職員教育の徹底
4. 患者への説明と患者参加の促進
5. ハイリスク患者へのスクリーニング検査の実施(チャレンジ)
6. 肺塞栓症の早期診断・治療マニュアルの作成(チャレンジ)

### ◆ 行動目標 3a: 危険手技の安全な実施－経鼻栄養チューブ挿入時の位置確認の徹底

【目標】経鼻栄養チューブの挿入留置手技に伴う有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 経鼻栄養チューブ誤挿入のハイリスク患者の識別
2. 聴診法を位置確認の確定判断基準にしない
3. 経鼻栄養チューブの挿入と位置確認のためのマニュアルの策定及び順守
4. pH測定をすべての経鼻栄養チューブ挿入時位置確認の基準に採用する (チャレンジ)

### ◆ 行動目標 3b: 危険手技の安全な実施－中心静脈カテーテル穿刺挿入手技に関する安全指針の策定と順守

【目標】中心静脈カテーテルの穿刺挿入手技に伴う有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. TPNとCVC留置適応の厳格化
2. 安全な穿刺手技等の標準化
3. 安全手技の教育体制の構築 (チャレンジ)

### ◆ 行動目標4: 医療関連感染症の防止

【目標】MRSA感染が関与する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 手指衛生の徹底
2. 標準予防策・接触感染予防策の強化
3. 環境と器具の清浄化

◆ 行動目標 5a. 医療機器の安全な操作と管理－輸液ポンプ・シリンジポンプの安全管理

【目標】 輸液ポンプ・シリンジポンプが関わる有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 輸液ポンプ・シリンジポンプの保守点検の確実な実施
2. 操作者マニュアルの作成と教育の徹底
3. 操作者用チェックリストの作成と適正な運用

◆ 行動目標 5b. 医療機器の安全な操作と管理－人工呼吸器の安全管理

【目標】 人工呼吸器が関わる有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 人工呼吸器の保守点検の確実な実施
2. 人工呼吸器動作確認チェック表の作成と運用
3. 生体情報モニタを必ず装着する

◆ 行動目標 6. 急変時の迅速対応

【目標】 医療行為が関係する院内急変事例の死亡を防ぐ

【推奨する対策】

1. 有害事象に対する緊急対応手技の浸透
2. 心肺蘇生法の職員教育の徹底
3. 院内救急計画の策定と体制づくり
4. 容態変化への早期対応態勢(RRS)の確立 (チャレンジ)

◆ 行動目標 7: 事例要因分析から改善へ

【目標】 有害事象や死亡事例の要因分析に基づくシステムの改善

【推奨する対策】

1. 事例要因分析の手法の周知と職場での実施
2. 事例要因分析で明らかになった課題に関する改善活動の実施
3. M&Mカンファレンス (Morbidity & Mortality Conference)のプログラム化 (チャレンジ)

◆ 行動目標 8: 患者・市民の医療参加

【目標】 患者・市民と医療者のパートナーシップを通じてケアの質・安全と相互信頼を向上させる

【活動】

1. 患者さんや地域の市民が参加・参画して医療の質・安全を向上させる活動を新規に実施する
2. 活動の成功体験や教訓を共同行動HPから紹介する

\* 支援ツールを用意している参考モデル

(a)「安全は名まえから」(患者と医療者の協同によるフルネーム確認)

(b)「からだと病気を知るために」(院内患者図書室の設立)

\* その他どのような活動でも結構です。参加病院からご提案いただくことで、さまざまな活動が広がることを期待しています。